

2026 年臭気選別専科 ・ 競技規定

1. 臭気選別は4回行う。但し、1～3回まで連続して成功した場合は4回目を省略する。採点は1～3回ストレートで成功100点・3回成功75点・2回成功50点・1回成功25点とし、この点数が本競技の獲得点数となる。100点獲得犬が2頭以上いた場合は3回を限度として順位決定戦を行う。順位決定戦にはゼロ回答を入れる場合がある。また、100点獲得犬が居ない場合で、同点の犬が2頭以上いた場合は指導手および犬の作業態度も考慮して順位を決定する。
2. 物品は布片（縦約20cm、横約10cm）原則としてシャツまたは靴下からの移行臭とする。移行時間は2～5時間とし、2～3日前に準備する。1個の本臭物品と4個の誘惑物品（4名の誘惑臭）を使う。
3. スタートラインから選別台までの距離は10mとする。
4. 作業時間は、指導手が本臭物品を受け取り、犬が物品を咥えて指導手のもとへ戻り、指導手が受け取るまでを1分以内とする。
5. スタートのやり直しは1回戦のみ各1回認めることとする。順位決定戦では認められない。
6. 競技中に排尿、排便をした場合、その回を中止とする。
7. 2個以上の物品を持ってきた場合、また、途中で物品を落とし、スタートラインを越えた場合はその回を不正解とする。
8. 競技中に犬が逸走した場合、指導手は直ちに呼び戻しを行うが、2回の呼び戻しを行っても犬が応じない場合、その回を中止とする。尚、逸走その他、審査員が危険性があると判断した場合、その回の中止および以後の作業を中止する場合がある。
9. 持来した物品は正面停座で受け取り、犬に脚側停座させた後審査員に渡す事を基本とする。
10. 順位決定戦におけるゼロ回答は、犬が選別台上の物品すべてを確実に嗅ぐことを原則とする。嗅がずに不持来した場合はその回を不正解とする。

実施要項

指導手は犬を出発点に伴い、申告を行う。続いて選別台に対し反対向きに脚側停座させ、審査員の指示を待つ。審査員の指示により反転し犬を脚側停座させた後、本臭物品を受け取り犬に嗅がせ、選別台に向けてスタートさせて作業を開始する。犬が選別台に到達するまでは指導手による声視符を認めるが、選別台に到達後は一切の声視符を禁止する。選別台に到達後は、後の作業を犬が自力で完遂する事を原則とするが、犬が物品を完全に咥え上げ、指導手の方へ向いたならば招呼しても良い事とする。